



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

長崎大学大学院工学研究科
＜社会人向け＞IT先端技術習得講座

公開講座

一般公開講座②Zoomによるオンライン公開講座です。

＜デバイスと安定した通信環境が必要です(※下記参照)＞

「計算社会科学」で見る コロナ禍の社会変化

11月28日(土)13:00~16:00

近年、社会現象の本質とその構造を解明していく社会科学の分野にコンピュータサイエンスの技術を用いて、これまでと違うアプローチからの解明を進める「計算社会科学」の研究が注目を集めています。とくに、データサイエンスやAIの技術によって従来の社会科学では扱えなかった視点から分析できるようになり、インターネット上にある膨大な社会データ、いわゆるビッグデータの新しい利用法や事実の発見に期待が高まっています。今回は、その計算社会科学の第一人者で、東京大学大学院准教授の鳥海不二夫氏を招聘しました。計算社会科学の手法とはどんなものか、そして、いま私たちが直面しているコロナ禍の社会についても、大規模社会データの分析の実例を交えながら、そこに見えてくる社会変化の様子を解説していただきます。

講師：鳥海不二夫

東京大学大学院工学系研究科准教授
Profile：2004年、東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム工学専攻博士課程修了(博士(工学))、同年名古屋大学情報科学研究科助手、2007年同助教、2012年東京大学大学院工学系研究科准教授。計算社会科学、人工知能技術の社会応用などの研究に従事。情報法制研究所理事、人工知能学会、電子情報通信学会、情報処理学会、日本社会情報学会、AAAI各会員。

主な著書に「強いAI・弱いAI 研究者に聞く人工知能の実像」「人狼知能 だます・見破る・説得する人工知能」



(定員：50名 / 参加費：無 料)



デバイスは、PC・タブレット・スマートフォンなど、マイクとカメラ機能があるのが望ましい。通信環境は、Wi-Fiまたは有線など安定した環境が推奨です。

●お申し込み・お問合せ-----先着順で、定員になり次第受付を終了します

①メールで、タイトル「計算社会科学で見るコロナ禍の社会変化」と以下、必要事項を送信してください。

【必要事項】氏名・年齢・所属(会社名、学校名など)・メールアドレス・住所(県&市&町まで)

②受付が完了した方にはその旨をメールでお知らせします。

③日程が近づきましたら、受講者へ「ZOOM ミーティングの招待状」をメールでお送りします。

◆ IT先端技術習得講座事務局 / 送信用アドレス： info-it@cis.nagasaki-u.ac.jp / 電話：095-819-2570